アメリカにおける小規模な国立公園の変遷と意義

伊 藤 太 一*

The History of Small National Parks in the United States and its Meanings

Taiichi Ito

摘要：アメリカにおける初期の国立公園史をたどると、プラットのように小規模で都市公園的な国立公園も設立されている。これらの公園が設立された時代にはまだ管理主体が存在せず、システムとしての考え方もなかったことが、大小混在した理由である。これらは国立公園の基準をはずれるものであったが、これらが基準外の公園として存在したがゆえに、公園の基準が明らかになってきた。公園の国立公園の基準は今日もお流動的であり、むしろ国立公園局が近年都市域での活動を重視していることを鑑みると、その歴史の中で小規模な公園が国立公園の普及と発展に果たした役割は重要である。

1. はじめに

今日、アメリカの国立公園システムは自然、歴史、レクリエーションに大別され、50の国立公園を含む355地域から構成されている¹⁾。その核心をなす国立公園は自然環境を中心とするが、それぞれの公園にはさまざまな政治的・歴史的背景が控えているため、その内容は種々雑多である。とりわけ、1916年に国立公園局が内務省に設置されるまで、国立公園とは何かという基準が漠然としていたため、今日の観点からすれば規格外の公園も設立されている。しかしながら、これらの公園が設立、管理、あるいは移管される過程で、国立公園の在り方が次第に明らかになっていったのではなかろうか。そこで、本論ではもはや国立公園ではなくなった2つの小規模な公園の変遷を検討し、国立公園の発展過程における位置付けを試みた。

2. プラット国立公園の変遷（表-1）

(1) 成立過程¹⁾²⁾³⁾⁴⁾⁵⁾⁶⁾

1803年のフランスからのルイジアナ購入によってミシシッピ川以西、ロッキー山脈に至る広大な地域が一挙にアメリカの領土となった。1830年にはインディアン強制移住法が制定され、ミシシッピ川以東に生活していた「文明化した五部族（Five Civilized Tribes）」と呼ばれる先住民がこの新領土に強制移住させられた。1838年の冬には「涙の旅路」と呼ばれるようなチェロキーの悲惨な移動も行われた。この五部族のうち、チョクトー（Choctaw）とチカソー（Chickasaw）の両部族が今日のオクラホマ州南部のサルファー（Sulphur）の町の

表-1 プラット国立公園略年表

年	できごと
1839	チカソー族がサルファー地域に移住
1887	インディアン一般土地割当法制定
1895	開発業者による鉱泉私有化の動き
1900	五部族連合の代表がワシントンを訪問
1900	サルファーに町制施行（人口1,198人）
1902	保留地設立への最終的合意
1903	保留地の拡大と町の再移動の決定
1904	保留地の設立
1905	保留地内の建物の販売
1906	年間訪問者10,000人に達する
1906	プラット国立公園に名称変更
1906	臭化カリ鉱泉周囲の改良に予算配当(\$400)
1907	サルファーの人口3,500人に達する
1907	オクラホマが州となる
1907	園内への牛の侵入
1907	年間訪問者25,000人に達する
1908	スミソニアンへの移管提案、住民の反対
1908	サルファーの町がリゾートとして繁栄
1908	年間訪問者106,332人
1910	内務長官による州立公園化提案
1913	内務長官による州立公園化提案
1914	マザーの来訪、放牧の中止指示
1917	オクラホマシティーから動物寄贈
1919	マザーの再訪、フェンスと入口の問題指摘
1920	イエローストーンからバイソン寄贈
1921	地元下院議員による管理予算増額要求
1925	内務長官による州立公園化提案
1925	議会でプラット州立化提案
1927	内務長官による州立公園化提案
1927	年間訪問者250,000人を越える
1928	国立公園中2番目の訪問者数記録
1928	ふたたび、州への移管示唆
1930	州立公園化および記念物化法案議会提出
1933	CCCによる公園施設改良始まる（1940まで）
1933	内務長官による州立公園化提案
1938	レクリエーション地域への移管提案
1943	64エーカー追加し912エーカーとなる
1947	年間訪問者500,000人に達する
1949	年間訪問者百万人を初めて突破
1962	アーバックル法案成立
1964	アーバックルダム建設開始
1969	ネイチャーセンターの完成
1972	臭化カリ鉱泉枯渇
1976	チカソーレクリエーション地域に吸収

*京都大学農学部

あたりに割当てられた保留地に住むようになった。

1887年にはインディアン一般土地割当法が制定され、インディアン保留地内の土地をインディアン個人に所有者として割当てられるようになったことを受けて、インディアンから土地を借り、あるいはインディアンの女性と結婚して、この地域に定住する白人が増加した。その増加は1900年にサルファーに町制が敷かれるほどであった。その結果、白人の移住者がチカソーの人々よりも多くなり、保留地でありながら土地の管理が彼らの手から離れていった。

そこで、部族が共有してきた湧泉とその流域にある夏の幕営地までが私有化されることを危惧したチカソーの人々は、湧泉がすべての人々によって恒久的に利用されることを願った。その動きは1900年に五部族委員会のスポークスマンが首都ワシントンを訪れた頃から活発化した。早くも1901年3月には対象地域の測量が行われた。1902年3月には五部族委員会とチカソーとチョクトー両部族との間で湧泉地域の連邦政府への売却とその金額が合意された。この保留地の買い取り価格は1acreに付き\$20で、面積629.33acreの合計は\$12,586であった。これを受けて同年7月には議会で買収予算支出の承認が得られた。そして9月にはインディアン側は投票によって3月の合意を正式に決定した。1903年2月には、撤去の対象となる地域内の家屋の評価額が算出された。総額は\$86,981となった。しかし、この間のやりとりが住民には伝わっていなかったので、8月に住民に対する転出命令が通告されると、住民は大混乱に陥った。このため11月には内務長官がこの地域を視察し、保留地全域が必要

とは限らないと述べ、再調査を約束した。しかしながら、再調査の結果、32の医療効果のある鉱泉の存在が判明するとともに、南の隣接地218.7acreを追加しなければこれらの泉が下水で汚染されることも警告された。湧泉の保護を重視した内務長官による拡張案が、1903年11月に議会のインディアン担当委員会で支持されたのを受けて、町の再移転が通告され、住民は再び混乱に陥った。

インディアン担当委員会が承認した保留地拡大のための予算法案は1904年に議会で可決された。この委員会の有力者が、コネチカット州選出のブラット (Orville H. Platt) 上院議員であった。これによって1904年4月29日に合計面積848acre (343ha) のサルファースプリングス保留地 (Sulphur Springs Reservation) が設立された (図-1)。1905年には敷地内の300以上の買収された建物が競売にかけられた。さらに、1906年6月29日には、前年4月に死去したブラット議員がこの保留地の設立に貢献した功績を讃えて、名称をブラット国立公園に変更する決議が全会一致で採択された。

事前の同意なしで2回もの転居を余儀なくされたサルファー住民は当初政府に対して不満を抱いていたが、補償金が現金で支払われ、万病に効果のある鉱泉を控えたリゾートとして町が繁栄したので、次第に公園に対して好意的になった。その後、植樹などの修景がなされ、バイソンなどの動物も各地から寄贈されて、行楽地としての整備が進んだ。1928年には全国立公園中2番目の訪問者数を記録している。一方、人口の増加にともなって、公園を見下ろす高台に移転した町からの下水が園内に流れ込んだり、水不足を補うための地下水くみ上げの影響

図-1 プラット国立公園平面図

で夏期に園内の湧泉が涸れることが頻発した。また、鉱泉ブームも次第に下火となり、1972年には臭化カリ鉱泉が涸れてしまった。

(2) 国立公園としての特異性

プラット国立公園は、雄大な風景など人間に感動を抱かせるような対象が存在したからではなくインディアンの土地の権利保護のために設立されたこと、および、既存の町の移転をともなったので、小面積ながら莫大な費用と手間を費やしていることの2点で特異である。それ以前は国立公園設置法案が議会で可決されるためには、費用がかからないということが必須条件であったのに対して、ここでは土地の購入だけではなく敷地内の建造物の補償まで行って保留地を設定した。これは国立公園設置のための土地買収の先例と言える。

このような出費が承認されたのにはいくつかの理由が考えられる。第一に、当時は万病に効くといわれた温泉、鉱泉に対する人々の関心が非常に高かったのに加えて、1832年にはアーカンソー州にホットスプリングス (Hot Springs) 保留地が人気のある温泉療養リゾートとして設立されていた。プラットの鉱泉も万病に効くと宣伝され、瓶に詰めて販売されるほど人気が高く、湧出量の少なかった臭化カリ鉱泉は、1916年までその取水を1人1日1ガロンに制限したほどであった。第二の理由としては、後にプラット上院議員の名が被せられたことから明らかなように、有力者の彼が連邦政府による買い上げを働きかけたと推察される。第三に、名称がプラットに変更されたのと同じ日にコロラド州の崖に築かれたインディアンの住居遺跡がメサベルデ国立公園となり、また、その3週間前の6月8日にはその後の保全地域の指定に大きな影響を及ぼした古物保存法 (Antiquities Act) が成立していることから、インディアンの文化保護に対する関心が高まっていた当時の社会背景も無視できない。

(3) 批判と廃止の動き⁵⁾⁷⁾

このようにインディアンの望んだ湧泉 (写真-1) へのアクセス確保を目的として設定された公園ではあったが、一旦連邦政府によって管理されるようになると、地元住民は一層の施設整備を働きかけた。1925年には、何

写真-1 公園内の湧泉 (Buffalo Spring)

もない900acreほどの場所にどうしてそれほど金が入り込むのかという批判が他州の議員から出るほどであった。管理費用の地元負担なしで公園が維持され、さらに「国立」ということが他の地域からの行楽客を呼び寄せるのに効果があったので、地元住民は非国立公園化の動きに警戒した。議会でもたびたびプラット公園批判がなされる一方、連邦政府としても国税の使途が特定の地域の利益に限定されることには難色を示し、度々移管することを試みた。まず、1908年に政府はスミソニアン研究所への移管を考えたが、内務省管轄のままの方が良いと考えた住民の反対運動にあった。1910年に内務長官はこの公園を州立にするかインディアン保留地に戻すことを提案したが、オクラホマ州は拒否した。その後も、1913年、1925年、1933年に内務長官は州へ移管し州立公園とすることを勧告したが、その都度住民は地元の国会議員を通じて反対している。また、1930年には国立公園局を積極的に擁護したミシガン州選出のクランプトン (Louis Crampton) 下院議員によって、州立公園化法案と国家記念物化法案が出されたがどちらも通過しなかった。さらに、1938年には新設カテゴリーの国立レクリエーション地域 (National Recreation Area) とすることの打診があったが、このときも住民は反対している。

1940年代には鉱泉ブームが去り、また、町による地下水汲み上げのため、湧泉がたびたび枯渇するような事態になったにもかかわらず、度重なる移管の動きが成功しなかった理由として、地元の圧倒的な支持に加えて、レクリエーションの場としての利用者が多かったことがあげられる。四半世紀を経て樹木が生え、町の痕跡が薄れた1930年代には全国国立公園の中でも3-5番目の利用者数を記録している。その多くは近隣の地域からの常連による都市公園的な利用であったが、利用実績は連邦政府による予算の配分を正当化するとともに、国立公園の普及と勢力拡大を求める公園局には必要なものでもあった。

結局、プラットの非国立公園化は、1962年にアーバクル (Arbuckle) ダムの建設が決定し、そのダム湖のレクリエーション地域化が推進される過程の中でようやく可能となった。1976年3月18日、この地に移り住んだインディアンに因んで名付けられたチカソー国立レクリエーション地域が正式に設立され、プラット国立公園はその中に吸収され、70年の歴史に終止符を打った。

3. サリーズヒル国立公園の変遷

(1) 成立過程⁸⁾⁹⁾¹⁰⁾¹¹⁾¹²⁾

ノースダコタ州北東部のデビルズ湖 (Devils Lake) に北側を接したサリーズヒル公園 (Sullys Hill Park) はプラット以上に国立公園らしくない空間であった (図-2)。プラットには当時人気を集めた鉱泉という対象が存在したが、ここは「森林と流れがある小さな公園」と

図-2 サリーズヒル国立公園境界

記述されたように特色のない地域で、当時のガイドブックでも重視されていなかった⁽¹³⁾⁽¹⁴⁾。

この近くにはインディアン保留地 (Devils Lake Indian Reservation) があったが、1875年の政府の測量が間違っていたため、その西側の境界付近の64,000 acreの土地が失われた。また、1867年と1890年にはフォートトッテン (Fort Totten) 駐屯地建設のため保留地から木材が供出されていた。そこで、1901年にインディアン局 (Bureau of Indian Affairs) と保留地住民との交渉の結果、これらの損失の補償措置として、政府は賠償金を支払うとともに放棄されたフォートトッテン軍用地 (Fort Totten Military Reserve) 含む不要な地域を、彼らに払い下げることにした。

上述のサルファースプリングス保留地設立の2日前の1904年4月27日に、議会でいかなる意見もなくこの法案が承認された。その規定には、大統領が宣言すればその払い下げ予定地の一部を教会や布教館、インディアンの学校、役所用地として除外し、また軍用地の北東の部分を占める960acreのサリーズヒルと呼ばれる地区を公園 (public park) として保留できるという条項が付随していた。6月2日のローズベルト (Theodore Roosevelt) 大統領による宣言の際には、この条項に従って780 acre (315ha) を人々の利用のためのサリーズヒル公園として払い下げから除外した。この法案では当初「特にデビルスレークインディアンによる利用のため」の公園となっていたが、インディアン委員会で審議する過程で、利用者を特定する表現は取り除かれた。このようにこの地域は、国立公園ではなく、保留地住民の利用を前提とした小公園を意図して設立された。しかし、内務省インディアン局の行政事務処理上、州などの所有にできなかったため、連邦政府の所有する公園、結果的には国立公園となってしまったのである。このため地元の学校の校長が管理員を兼ねたものの管理予算は全く付かなかった。ただ、1914年に鳥獣保護区 (National Game Preserve) に重複指定される際に、その管理のための予算が与えられたにすぎない。

(2) 廃止過程とその意義

以上のような経緯のため、内務省は便宜上国立公園に区分してその報告書にも掲載していたが、管理予算を配分しなかったことから明らかなように、実質的には国立公園とは認識していなかった。1916年の公園局設立時には、公園の設置基準が内部では暗黙の内に形成されていたようだ。初代のマザー (Stephen T. Mather) 公園局長は1921年の年次報告で議会は公園としてのサリーズヒルを廃止し、農務省の鳥獣保護区としてのみ管理すべきであると記している。

1920年代にサリーズヒルを訪れたクラプトン下院議員は、プラットと同様、マザーらの要請を受けて、1930年に廃止法案を提出した。この法案は翌1931年に議会で承認され、サリーズヒルを農務省に移管するとともに3,000acreの土地が追加された。プラットが度重なる移管提案に関わらず、地元の強い反対によってそれが実現しなかったのに対して、サリーズヒルには地元の利害が関わっていなかったためか、ノースダコタ選出議員の反対も地元の反対もなかった。以来マザーの主張通り農務省管轄の鳥獣保護区として今日に至っている。

4. 基準外の公園の意義

これらの基準外の公園は国立公園史において2つの動きを促したと考えられる。第一の動きは公園の質の向上を目指すもので、管理組織を設立して、基準を満たさない公園の設立を未然に防ぐようになった。これに対して、第二の動きは量を充足させる方向に向かった。すなわち、地域ごとの多様な要求を満たし、人々が手軽に利用できるような公園が提供されることを促進した。

(1) 管理組織の設立と公園基準の設定⁽¹⁵⁾⁽¹⁶⁾⁽¹⁷⁾⁽¹⁸⁾⁽¹⁹⁾⁽²⁰⁾⁽²¹⁾⁽²²⁾

国立公園の数が増加するに従って、その管理体制の不備や、上記2例のように連邦政府が管理すべき価値のない公園が設立されるようなことが問題になった。しかしながら、公園の設立や管理の基準がない段階では政府としてこれらの問題に対応できなかった。そこで公園の基準とそれに対応して公園を管理する組織の立法化が図られるようになった。

最初の公園管理組織設立の動きは、1906年の古物保存法の提案者でもある、レーシー (John F. Lacy) 下院議員が1900年に提案したことに始まる。1910年にはバリンジャー (Richard A. Ballinger) 内務長官が国立公園局 (Bureau of National Parks) 設立法案を起草し、オルムステッド2世 (Frederick Law Olmsted, Jr.) らが手を加えている。しかしながら、この法案は、森林局が国立公園を管理すべきだと考える人々によって葬り去られた。次期のレーン (Franklin Lane) 内務長官も現存の公園基準のばらつきと管理の問題を感じ、1914年にたまたま彼宛てに公園管理に対する抗議文を差し出したマザーに公園局の設立を任せることにした。そ

の公園局設置法案も反対にあり、なかなか成立しなかったが、1916年8月ようやく可決され大統領の署名を経て公園局 (National Park Service) が設立された。しかしながら、第一次大戦中でもあり当初は人件費などを含む予算が配当されない状態が続き、実質的に公園局が公園管理主体として機能し始めたのは1918年であった。

公園局設立後も政治家がその出身地で国立公園設立を謀ったことを憂慮してか、1918年5月13日にレーン内務長官がマザー公園局長宛てた手紙の体裁をとった文書の中で初めて国立公園の設置水準と管理水準が提示された。それによると国立公園は、最高の景観や国家的保全に値する自然現象を対象とすること、最高の水準に達しない対象を含めて基準を低めないこと、広さよりも管理の可能性の3点に留意して選定するべきであるとした。さらに、その管理は将来の世代のためにも損なうことのないようにすること、人々の利用、健康保持などの目的のために設立されていること、国益が公園内の営業に優先することなどが管理原則として示された。さらに、具体的な管理指針として20の項目が示されている。実はこの文書はオールブライト (Horace M. Albright) が中心となりマザーやシエラクラブの公園支持者などの意見を取り入れて完成させたものである。さらに、1925年3月11日の内務長官から公園局長に宛てた書簡もこれと同様な内容である。また、ヤードの公園ガイド²³⁾でも同様に尋常ではない美しさ、目だった現象や普通ではない特質などが言及されている。

(2) 地域のレクリエーションへの対応²⁴⁾²⁵⁾²⁶⁾

プラット国立公園の人気は公園局に多様な空間の必要を痛感させた。すなわち、西部の遠隔地の国立公園はどんなにすばらしくても、多数の都市住民にとっては無縁の存在でしかない。また、公園局がその管理する公園の基準をいくら厳格にしても、政治的圧力によってふさわしくない公園が設立される可能性がある。事実、1922年に公園局が属する内務省のフォール (Albert B. Fall) 長官は、自分の所有する牧場の周囲に、狩猟も鉱山の採掘も、放牧も可能な国立公園を設立することを要求した。マザーらはそれを断念させることを試みたが、フォールはホットスプリングスやプラットが国立公園の基準を満たさないにも関わらず設立されている事例を引き合いに出し、自分の提案する公園も別なクラスのものとして国立公園にできると主張した。この無理な要求に苦慮したマザーは1年近くノイローゼで入院するほどであった。

結局、この公園はフォールが収賄事件に関わり辞職したため実現されなかったが、公園局は次第にその管理する公園の種類を増加させ、1936年の「公園、パークウェイ、レクリエーション地域調査法 (Park, Parkway, and Recreational Area Study Act)」の成立を受けて、1938年には最初のレクリエーション地域が設立され

ている。さらに、連邦政府だけではなく州も積極的に公園に関わるべきだと考えたマザーは1921年1月に州立公園会議を組織して、まだ州立公園のない州が29もあることを示し、州立公園の普及を訴えた。その会議から州立公園のシステム化の動きが生まれるとともに、州立公園全国会議が結成され、その目的が宣言された。

5. まとめ

2つの公園が同時期に設立され、どちらにもインディアンの権利が関わっていたことは、アメリカの固有文化に対して人々の目が向き始めた時代背景を象徴する。だが、公園空間自体よりも、むしろそれらの廃止過程で公園基準や公園管理が認識されたことが重要である。

元来保留地内のインディアンのための近隣公園を意図して設定されたサリーズヒルが名目だけの国立公園になったことは、イエローストーン設立以後30年を経ても、議会の中で国立公園とは何かまだ理解されていなかったということ物語るとともに、公園局にとっては、廃止されたこと自体が一種の公園基準となった。

プラットは、鉱泉を含む湧泉からなる都市公園にすぎなかったにもかかわらず、地元からの強い支持とその利用者数の多さの故に非国立公園化が困難であった。この人気は身近なレクリエーションを供給する場として、国立公園システムの多様化と都市域での展開を促し、それを補完する州立公園システムの発達に影響を及ぼした。また、困難な廃止過程は公園局にその後の国立公園基準を一層慎重に検討させたであろう。その後の公園の拡大に従って、1964年にウダール (Stewart L. Udall) 内務長官は自然、歴史、レクリエーションの3種類にシステムを分けるという管理政策に関する覚書に署名した。さらに、1972年のシステムプランでは1918年の書簡とはかなり異なる基準が用いられている²⁷⁾²⁸⁾。自然地域の選定基準に関してはより科学的、生物中心的となっている。具体的にはまず、国家的重要性と管理適性が問われ、さらに、システムに編入されなければ保護不可能かどうか、また、保護されても人々による観察や利用は可能かがチェックされる。最後に、顕著な地学的特色、地上の生命進化の顕著な証拠、その地域の代表的生態系、特色のある動植物の生息域、自然の産物である景観など科学的に意義のある地域も選択するようになっている。

引用・参考文献

- 1) National Park Service (1990): Facts about the National Park System, National Park Service
- 2) Rogers, E.B. compiled (1958): History of Legislation Relating to the National Park System Through the 82nd Congress, vol. 75, U.S. National Park Service, Washington, D.C.

- 3) Brown, P.E.(1953): Brief History of Platt National Park(unpublished paper)
- 4) Barker, B.M.; Jameson, W.C.(1975) : Platt National Park, pp.3-24, Univ. of Oklahoma Press, Norman
- 5) Boeger, P.H.(1987): Oklahoma Oasis, Western Heritage Books, Mukogee, Oklahoma
- 6) Rolfe, M.A.(1927) : Our National Parks. Benj. H. Sanborn & Co., Chicago
- 7) Ise, J.(1961) : Our National Park Policy,pp. 140-142, Johns Hopkins Univ. Press, Baltimore
- 8) Lots, D.T.(1976) : An Analysis of Areas Formerly Administered by the National Park Service, pp.66-70, A Report Submitted to Michigan State University in Partial Fulfillment of the Requirements for the Degree of Master of Science.
- 9) Harmon, David(1986): Sullys Hill and the Development of National Park Standards, North Dakota History, vol.53, no.2, pp.2-9
- 10) Superintendent of the Crater Lake National Park(1910): Report on Wind Cave, Crater Lake, Sullys Hill, and Platt National Parks, and Casa Grande Ruin
- 11) Hogenauer, A.K.(1983): Gone But Not Forgotten, America's Delisted National Park Service Sites, Paper delivered at the Travel and Tourism Research Association 14th Annual Conference, Banff
- 12) Ise, J.(1961): Ibid., pp.139-140
- 13) Allen, E.F., ed.(1918): A Guide to the National Parks of America pp.226-227, Robert McBride & Co.
- 14) Yard, R.S.(1921):The Book of the National Parks, Charles Scribner's Sons, New York
- 15) Buck, P.H.(1922): The Evolution of the National Park System of the United States, A Thesis Presented for the Degree of Master of Arts, The Ohio State University
- 16) Albright, H.M.(1985): The Birth of the National Park Service, pp.68-73, Howe Brothers, Salt Lake City
- 17) Cameron, J.(1922): The National Park Service, Its History, Activities and Organizations, AMS Press, New York(Reprint)
- 18) Mather, S.T.(1916): Progress in the Development of the National Parks. Government Printing Office, Washington, D.C.
- 19) Proceedings of the National Park Conference, (1912, 1913, 1917)
- 20) Shankland, R.(1951): Steve Mather of the National Parks. Alfred A. Knopf, New York
- 21) Swain, D.C.(1970): Wilderness Defender, Univ. of Chicago Press, Chicago
- 22) Ise, J.(1961): Our National Park Policy, Johns Hopkins Univ. Press, Baltimore
- 23) Yard, R.S.(1920): Glimpses of Our National Parks, Government Printing Office, Washington D.C.
- 24) Runte, A.(1984): National Parks, 2nd ed., Univ. of Oklahoma Press, Lincoln
- 25) Albright, H.M.(1985): Ibid, pp.129-135
- 26) Tilden, F.(1962): The State Parks, pp.3-44, Alfred A. Knopf, New York
- 27) Foresta, R.A.(1984): America's National Parks and Their Keepers, pp.112-117, Resources for the Future
- 28) Lots, D.T.(1976): Ibid, pp.10-17

Summary : In 1904 two small national parks, named Platt and Sullys Hill respectively, were established in the United States. These parks have been often ignored in the national park history because they are considered to be of inferior quality and because later abolished. However, by shedding new light on these parks, their roles in the development of the national park system became clear. First of all, the fact that such insignificant areas were designated as national parks shows how little people knew about meanings of national parks although Yellowstone had been established more than 30 years ago. As the result, creation of a managing agency was urged in the government and the park standard began to take shape. Once the National Park Service was established, it became obvious that strong demands of urban people for recreation cannot be fulfilled by traditional national parks in the remote areas. Thus importance of more easily accessible parks was gradually recognized. This led to expansion of the national park system to national recreation areas.

At the same time, the establishment of the state park system was urged to correspond to local needs. Finally, the effort of declassifying these small parks itself explained the national park criteria implicitly.